

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報			
・ 学籍番号			
・ 氏名			
・ 学部	システム理工学部		
・ 学科(コース等)	生命科学科 生命医工学コース		
・ 学年(渡航開始時)	3年		
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	☐ 氏名も掲載してよい ☒ 学部・学科まで掲載してよい ☐ 完全匿名での掲載を希望		

留学先情報			
・ 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型 ☐ オンライン型		
・ プログラムタイプ	☒ 授業履修型 ☐ 研究室配属型		
・ 国・地域名	スウェーデン		
・ 都市名	ストックホルム		
・ 留学先大学名	スウェーデン王立工科大学(KTH)		
・ 留学期間	☐ 3ヶ月未満 ☒ 3ヶ月～半年 (1セメスター程度) ☐ 半年～1年 (2セメスター程度)		
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2021年8月下旬	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	☐ 1年前期 ☐ 修士1年前期 ☐ 1年後期 ☐ 修士1年後期 ☐ 2年前期 ☐ 修士2年前期 ☐ 2年後期 ☐ 修士2年後期 ☐ 3年前期 ☐ 博士以上 ☒ 3年後期 ☐ 4年前期 ☐ 4年後期		
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	北欧の生活に興味があったため、北欧の大学で自分の学科と同じような授業があるところを選びました。 留学生が多い大学なことも選んだ理由の1つです。		
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)			

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	☐ 休学をした ☒ 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取れ終えており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	国際プログラムで留学が必須だったため。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

英語開講科目はほとんど大学院の授業で基本的に難しかったです。多くの授業はクォーター(セメスターの半分)制で、1コマが2時間でした。講義形式の授業もありますが、グループワークが多かったです。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Swedish A1 for Engineers	単位数 (現地単位数) 5 (7.5)
科目概要	初級レベルのスウェーデン語の授業でした。本来は授業が始まる前の長期休暇期間に集中的に行われる授業でしたが、コロナの影響で授業期間にもオンラインで開催されていました。授業時間は1コマ/週で期間は1セメスターでした。授業中は講義、2～3人ずつでの会話練習、小テスト、授業外でクイズ、作文、スピーキングなどの課題がありました。教科書とワークブックの購入が必須で、配布資料もありました。	
科目名②	Medical Engineering, Basic Course	単位数 (現地単位数) 4 (6)
科目概要	医学基礎の教科書を解説する講義形式の授業でした。授業時間は大体2コマ/週で、1クォーターでした。授業は基本的には対面でしたが、規制が厳しかった時期はオンラインでした。成績は1回の期末試験の点数だけで決まりました。	
科目名③	Deep Learning Methods for Medical Image Analysis: a hands-on course	単位数 (現地単位数) 5 (7.5)
科目概要	医療用画像処理の授業でした。2コマ/週の講義と1コマ/週のペアワークがありました。成績はペアワークの課題とプレゼンで決まっていたと思います。授業は全てオンラインでした。	
科目名④	Applied programming for life science 3	単位数 (現地単位数) 1 (1.5)
科目概要	PythonとGitHubの演習の授業でした。成績は個人作業の課題提出だけで決まりました。	
科目名⑤	Technology in Surgery, Anaesthesia, and Intensive Care	単位数 (現地単位数) 6 (4)
科目概要	手術・麻酔・集中治療の技術についての授業でした。1クォーターで大体2コマ/週の講義またはグループワークでした。成績は4回の小テストとグループワークのレポート課題で決まりました。企業見学と病院見学がありました。	
科目名⑥	Artificial Intelligence within Biomedical Engineering and Health Systems	単位数 (現地単位数) 5 (7.5)
科目概要	医療用画像処理の授業でした。授業時間は2コマ/週で、内容は授業ごとに用意されている課題とそれに関する意見交換でした。後半はグループワークで、プレゼンの課題がありました。成績は個人課題とグループワークのプレゼンで決まっていたと思います。授業は全てオンラインでした。	

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

部活やサークルには所属していませんでした。
ランゲージカフェという決まった言語だけを使って会話する機会が昼休みにあり、その場所に行けば誰でも参加できるため、現地の学生と交流することができました。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

留学生がとても多く、授業でも寮でも様々な国の学生と交流する機会がありました。
英語が第一言語ではない国ですが、どこに行っても当たり前のように英語が使えて、国籍に関係なく交流したり勉強したりできる環境に感動しました。
私は英語が得意ではなく、読むことはできても日常会話も怪しいレベルの英語力でした。留学すれば英語ができるようになるだろうと軽く考えていて、実際留学したおかげで英語が多少使えるようにはなりましたが、留学先の授業が大学院レベルの授業だったこともあり、その場で理解できず授業期間は予習と復習だけで1日が終わるような生活をしていました。留学前にもっと英語を勉強しておけばよかったと後悔しましたが、留学中に頑張ればなんとかなります。
休日には観光・散歩をしたり、クリスマスからお正月の授業が無い期間には友人と旅行に行ったりと授業以外でも充実した日々を過ごせました。
大変なこともたくさんありましたが、留学中は初めて経験することや新たにできるようになることがたくさんあり、自分で実感するほど成長できました。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）
受ける授業を選ぶのが難しかったです。先輩に聞いてみるとやりやすいと思います。最悪渡航してから協定校の担当者の方にメールすれば変更できます。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）
（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）
コロナの影響で留学に行くかどうかを決めたのが遅かったため、居住許可の申請がギリギリになってしまいました。居住許可は時間がかかるので、留学が決まったら早めに申請するべきです。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。
準備は何でも早めにやった方が良いです。

滞在先の宿泊施設などの情報（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

- 宿泊先のタイプを教えてください。（協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等）
協定校の寮、ホテル等
当初は協定校が提供する寮に全期間滞在する予定でしたが、途中で問題が発生したため、協定校の近くの大学の寮やホテルに引っ越しました。
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？（出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等）
出願時に協定校に依頼することができました。
引っ越し先も協定校に提供してもらえました。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？
交通手段や所要時間を教えてください。
大学が定めた到着日に到着したため、空港からメインキャンパスまで大学が提供する無料バスを利用しました。到着した留学生の人数に対してバスの本数が少なく、空港で1時間半ほど待ち時間がありました。
メインキャンパスから宿泊先までは地下鉄で移動しました。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。
最初の寮からは地下鉄で40分程度でした。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。
協定校に提供された寮は、洗濯のみ共用で、キッチン・トイレ・シャワーは部屋にありました。家具は机、椅子、ベッドが備え付けられていて、電気やキッチン用品などは前に住んでいた人が使っていたものが残されていました。
ランドリーの真上の部屋だったため、洗濯機の振動が気になりましたが、それを除けば住みやすい家でした。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	
往復航空券代(往復)	¥200,000	
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥73,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥50,000	ビザ申請は無料でしたが、銀行で残高証明を取得する必要がありました。パスポートは持っていました。英語試験は必要ありませんでした。コロナの陰性証明に渡航前・帰国前合わせて50,000円程度かかりました。
計	¥323,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥41,000	引っ越しがなければ、約60,000円/月でした。
食費/月	¥26,000	外食をしなければもっと安くできます。
その他/月	¥46,000	交通費8,000円/月、通信費600円/月、教科書代、日用品、服飾、交際費、観光・旅行費等
計	¥113,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥80,000	
計	¥80,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

メインキャンパスの入り口

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

寮の外観と内装

その他、任意の写真



説明文

ストックホルム中央駅

その他、任意の写真



説明文

ストックホルムの街並み
ストックホルムの冬はくもりか雪の日が多かったです。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。